

# 寺報

No.655

令和4年3月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

正像二千年の大王よりも、後世  
 をおもわん人々は、末法の今の民  
 にてこそあるべけれ。此を信ぜざ  
 らんや。



『撰時鈔』

### (解説)

「我々は、お釈迦様が去くなられてからの正法・  
 像法の二千年の間に、自分の意の如く振る舞う事が  
 出来る国王として生れるよりも、今法華経が広めら  
 れているこの末法の時代にこそ、来世の成仏を願  
 う人民として生れた方がはるかに幸福なのである。  
 何として、この幸せを信ぜずに置かれましようか。」  
 と日蓮大聖人は説かれます。  
 我々も、一般に世間の人が目指す地位・名誉・財産  
 などに必要以上にこだわります。  
 しかし、そういうものは仏様の前では全く無意味な  
 事なのであると力説しているのです。  
 結局、我々の求める願いとは、成仏する事であり、  
 他に求めるものは何もないという事です。  
 このように、日蓮大聖人は我々が成仏を願い、ひた  
 すらに法華経・お題目を信じ唱える事こそが、何に  
 も勝るかけがえのない事であり、かつ有難い事であ  
 ると教えにいられたのです。  
 日蓮大聖人がいわれますように、この大変な末法の  
 世に一人の民として生れ合わせ、法華経・お題目を  
 信ずる身となった我々は、この世で一番の幸せ者で  
 あるといえるのではないでしょうか。  
 しつかりと心に受け止めてもらいたいと思います。

# 『春彼岸会』『星祭』

十八日(金)・二十一日(月)・二十四日(木)

水 行・・・昼十二時半

大本堂前

法 要・・・午後一時

大本堂

法 話・・・約十分間

番	十八日	角田上人
当	二十一日	埴上人
話	二十四日	住職上人



②『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。  
 なお、合わせて星(剣守札)もご祈祷します。

## 法要次第

- 一、勸 請 (導師が唱えます)
- 一、開 經 偈 (無上甚深微妙の)
- 一、お 經 (漢字読み)

〔序品第一〜方便品第二〜如来寿量品第十六  
 〔自我偈〕〜如来神力品第二十一〜觀世音菩  
 薩普門品第二十五〜咒陀羅

- 一、御 祈 禱 (法樂加持)
- 一、御 妙 判 (如説修行鈔)
- 一、お 題 目 (南無妙法蓮華經)
- 一、宝 塔 偈 (此經難持)
- 一、星 祭 祈 願 (導師が唱えます)
- 一、お 經 (自我偈・漢字読み)
- 一、お 題 目 (南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼 岸 回 向 (導師が唱えます)
- 一、四 誓 (衆生無辺誓願度)
- 一、お 題 目 三 唱

【法 話・・・約十分間】

以上

③ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

## お寺からのお知らせ

### \*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。  
 どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

### \*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がります。  
 「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。  
 また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

### \*剣 守 札(星)【二体・二百円】

④星(剣守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

## 「星」(剣守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(剣守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。  
 その為に、当山僧侶が、十八日の彼岸の入り・二十一日の中日・二十四日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をさえぎる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました「九曜星」を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これをもとに行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

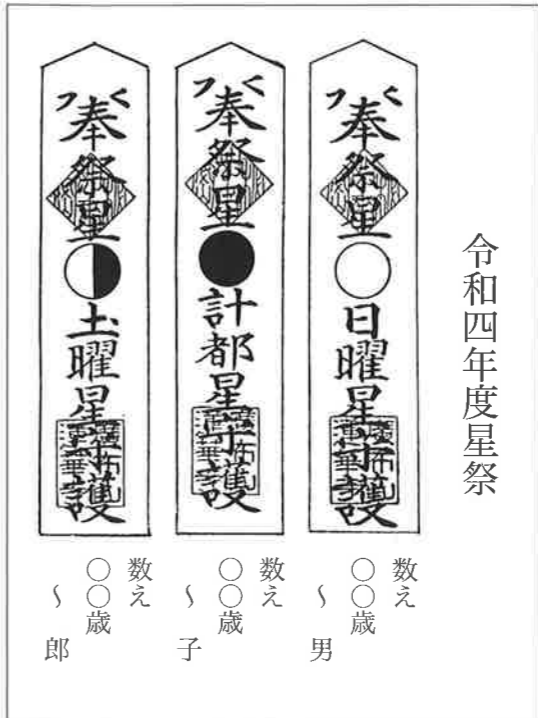
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(剣守札)をお申し込みになりますようにお願いします。  
 また、今までお申し込みしていなかった方も、今年よりよろしく願います。

# 星（劍守札）のまつり方

お寺より【星】を戴きましたら、そのままに置いて置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拝むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

## 令和四年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、事務所にて販売しております。

# お彼岸の意義

一般に『お彼岸』とは、我々が先祖を敬い、亡き人にご供養の誠をささげる一週間をいいます。

しかし、日蓮宗での「彼岸」とは、ただ他宗のように遙か彼方の浄土を求めず、皆様が今住むこの地を幸福と喜びのあふれた浄土にしていく事をいいます。

ですから他人に任せる事なく、自分自身、自らが懺悔滅罪し善根を積み、仏道に精進する期間であるという事を忘れてはいけません。

人は、悩みを離れて悟りを得る事は出来ません。今現在、悩み苦しむ毎日の生活の中でも、常に仏様の教えに従い、仏様に生かされているという感謝の心を持って精進していく事が大切なのです。

当山の『春彼岸会』には『星祭』の行事も合わせて行なわれます。

法要は三日間行われますので、自らが自寺に足を運び共に法華経・お題目の修行をするように頑張ってくださいませ。

# 三月十三日（日）

## 午後一時より

場所…大本堂

# 会 禁 涅 尊 釈



\*お釈迦様が亡くなられました、祥月命日の日です。  
\*十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。  
\*お釈迦様へのお供物もお受け致します。

# 『位牌壇』募集！

◎位牌壇がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、位牌壇がありますと、常にお寺に参拝出来ます。

◎現在空いています位牌壇に上りたい方には、数がある限り無料でお譲りしています。（三年以上使用）

# 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂のお花、【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用しています。  
会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

# 『靈断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『靈断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。なお、宗旨宗派は問いません。

（注）必ず御予約下さい。

☎776-5840

### 三月の行事

- 一 日(火) 盛運祈願会 午後一時より
- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【霊神符】をお持ち下さるようお願い致します。



十二日(土) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(日) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(日) 釈尊涅槃会 午後一時より

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】  
 十八日(金)・二十一日(月)・二十四日(木)  
 【水行】 昼〇時半より  
 【法要】 午後一時より

### ☆奉仕のお知らせ

十六日(水) 星祭の準備 男女共・午前十時より  
 \*星祭の祭壇、水行等の準備  
 十八日(金)【彼岸入り】 男女共・午前十時より  
 二十一日(月)【彼岸中日】 男女共・午前十時より  
 二十四日(木)【彼岸明け】 男女共・午前十時より

②『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。

また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。  
 特に二十四日(木)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願いします。

お守りもご奉仕しましょう

### ☆『春彼岸会の追膳』

十八日(金)〜二十四日(木)まで一週間  
 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】夕【午後三時〜五時頃迄】ですのお手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。  
 ②お手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

- ◎奉仕部長 山田兼補 ◎伝道部長 小野正春
- ◎教宣部長 杉淵昌三

### ☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置してあります『永代供養塔・水子観音像・動物供養塔』の(彼岸供養)は、三月二十一日(月)の午前十時三十分より、住職上人がご回向します。ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。  
 時間は約三十分くらいです。

☆三月まで、檀信徒研修会はお休みです。

### 「寒修行」終了す

本年、一月五日から二月二日までの二十九日間に渡り行われました「寒修行」は、皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。

今年は大雪に吹雪、連日の零下の気温、更にコロナ感染の危険と大変な状況が重なり、非常に厳しい修行となりました。

それでも、皆さんが頑張つて参加してくれました。本来、修行とは誰の為でもなく、自分の為に行うものですが、その僧俗一体となり一心に修行しているお姿は、正に異体同心、ご本仏様そのもののお姿でした。どうか来年度からは、いまだ参加した事のない方々も「寒修行」に参加してみてください。

まず、何よりも実行してみる事が大切です。なお、今般も法務ご多忙の中、導師を勤めてくれました住職・加藤・對馬・埴・角田の各上人に於かれましては、誠に有り難うございました。また、参加された皆様も、どうもご修行ご苦労様でした。

# 『春彼岸会』『星 祭』

## 三月

### 十八日(金)・二十一日(月)

### 二十四日(木) の三日間

水 行・・・昼十二時半より 大本堂前

\*檀信徒の皆様への応援をよろしくお願いします。



水 行



妙見菩薩

法 要・・・午後一時より 大本堂

法 話・・・約十分間 法要終了後

(先祖供養、追膳、星【剣守札】、供物は受付中)

\*『水行』『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中で御回向します。